

2025 災害伝承カレンダー

～過去の災害に学ぶ～



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
© 長野県アルクマ



防災メモリアル地附山公園（長野市）



船魂社のシダレザクラ（岡谷市）



荻沢川石堰堤（千曲市）

長野県建設部砂防課・長野県立歴史館・長野県治水砂防協会

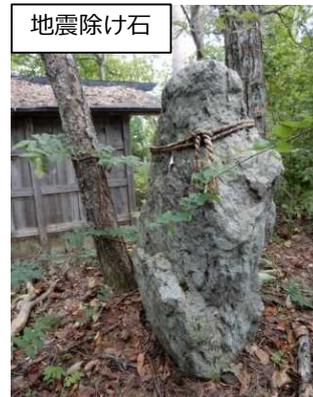


中山神社 地震除け石（生坂村）

生坂谷の犀川西岸、草尾長谷久保の尾根上にある山城跡に中山神社があります。

袖沢の小谷から狭く曲がりくねった急坂道を上がった先で、簡素な社殿の脇に高さ100cm、幅55cm、厚さ40cmの自然石があります。

1847年（弘化4年）の善光寺地震で被害を受けたので、この石を地震除けの石として祀ったといわれています。



県内の主な災害（1月）

- 1963年（昭和38年） 三八豪雪（～2月）
- 1980年（昭和55年） 五六豪雪（12～3月）
- 2006年（平成18年） 〇六（一八）豪雪（12～2月）

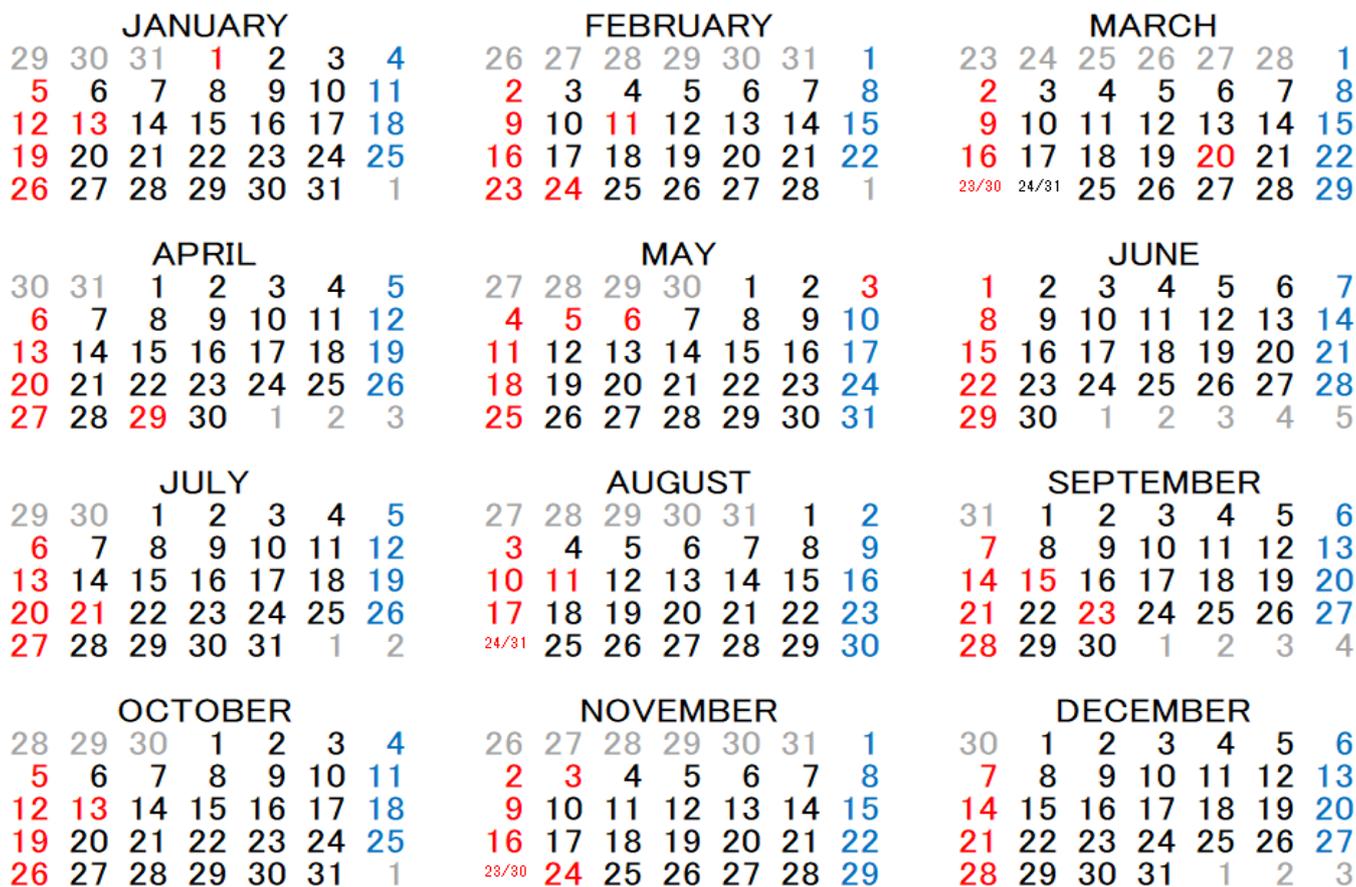
過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



災害伝承カレンダー

～過去の災害に学ぶ～

2025



写真提供 / 長野県山ノ内町

大蛇祭り（山ノ内町）

志賀高原の大沼池に住む、伝説の大蛇にまつわる催しです。若者がボートに乗り大蛇を操って、湖面を進みます。

大蛇伝説は戦国の武将・高梨政盛の娘、黒姫にまつわる物語です。大沼池の大蛇が、若者に化けて花見に行くと、美しい黒姫と出会い恋に落ちたそうです。殿様に正直に自分は大蛇であることを告げ、黒姫をくださいと懇願しましたが、馬を追って城の周囲を何回も回れと、策略を練られた条件が出され、刀を埋め込んだ地面とは知らずに、大蛇は城を回り、血だらけになり気絶したそうです。息を吹き返した大蛇は怒り、暴風雨で村に大洪水を起こしました。現状を悲しんだ黒姫は、嵐を収めるため大沼池に身を投じ、大蛇を鎮めたそうです。

夜間瀬川の洪水がいかに過酷であったかを物語る伝説です。現在では無病息災を祈願する催しとして行われています。

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



1
JANUARY

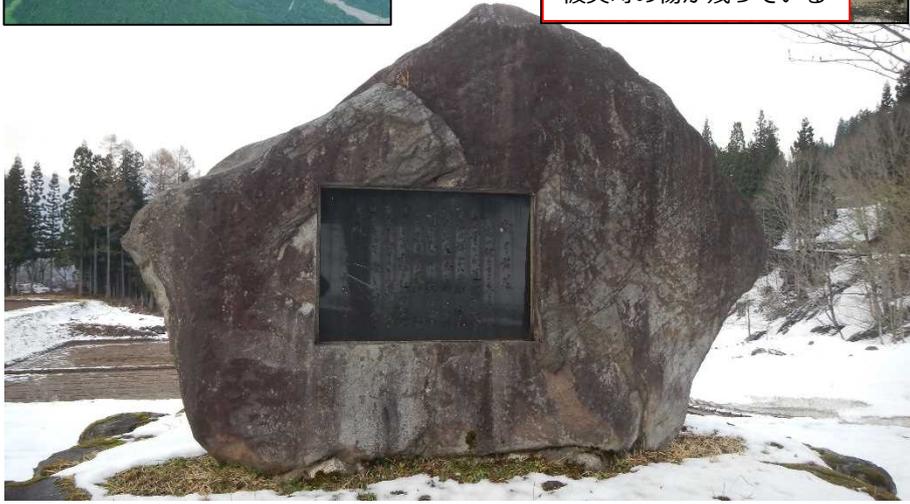
DECEMBER						
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

災害伝承カレンダー

FEBRUARY						
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	1

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1 元日 令和6年能登半島地震 (本震2024年)	2	3	4
5	6	7	8 三俣の大雪崩 (1918年)	9	10	11
12	13 成人の日	14	15	16	17 兵庫県南部地震 (本震1995年)	18 天正地震 (本震1586年)
19	20	21	22	23 草津白根山噴火 (本白根山2018年)	24	25
26	27	28	29	30	31	1



幸田文文学碑（歲月茫茫）（小谷村）

明治44年8月8日午前3時に発生した稗田山の大崩落。崩落の当日は、連日快晴で暫く雨らしい雨も見なかったとの事です。稗田を中心に一帯の山地が崩落し、浦川全溪を埋め尽くし、下流の姫川本流をもせき止める規模でした。姫川は約3km上流まで湛水し、世に日本三大崩れのひとつと言われる、この大崩落による死者は23人、流出家屋26戸、浸水家屋は47戸でした。

小説家・随筆家の幸田文先生は、この稗田山の崩落に関心を持たれ、昭和52年にこの地を見聞され、その感懐を雑誌「婦人の友」に「崩れ」として発表されました。小谷村ではこの「崩れ」から抄録した「歲月茫茫」の文学碑を平成4年に建立し、この大災害で亡くなった方々の御霊を慰め、悲惨な災害史を後世に語り継ぐ指標としています。

平成7年7月11日の梅雨前線豪雨災害により、碑は土砂で流されてしまいましたが、翌年に再建されました。碑文には当時の傷が残っています。

県内の主な災害（2月）

- 1934年（昭和9年） 北小谷村大平雪崩災害
- 1945年（昭和20年） 飯山線森宮野原駅積雪深7.85m
- 1961年（昭和36年） 栄村青倉雪崩災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



12
DECEMBER

NOVEMBER

26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

災害伝承カレンダー

JANUARY

29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	1 雪崩防災週間 (~7日)	2	3	4	5	6 小谷村蒲原沢 土石流災害 (1996年)
7	8	9	10	11	12	13
14	15 白馬村黒豆沢 土石流災害 (2023年)	16	17	18	19	20
21	22 糸魚川市大規模 火災(2016年)	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3



遭難供養碑（朝日村）

昭和8年3月16日、冬の度重なる大雪は人家を埋めつくすほどでした。午前11時頃突如として起こった大雪崩れにより、山中で製炭作業に従事していた人々が一瞬のうちに生き埋めとなりました。急を知らされた村民の救出活動は三昼夜に及びましたが、その努力も報われず、中俣沢で5名、船ヶ沢で1名が還らぬ人となりました。

災害当時建立された慰霊碑塔は朽ち果て、この悲しい出来事が忘れ去られようとしていましたが、霊を慰め、これからの山中での安全を願い、大雪崩れから60年後の平成5年に供養碑が再建されました。



県内の主な災害（12月）

- 1995年（平成8年） 蒲原沢土石流災害（小谷村）
- 2023年（令和5年） 黒豆沢土石流災害（白馬村）

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



2 FEBRUARY

JANUARY

29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

災害伝承カレンダー

MARCH

23	24	25	26	27	28	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	31	1 寛文高田地震 (本震1666年)
2	3 北陸本線雪崩災害 (1945年)	4	5	6	7 東南海地震 (本震1944年)	8
9	10	11 建国記念の日 安房トンネル中の湯側 水蒸気噴火(1995年)	12 森宮野原駅 最大積雪深 (1945年)	13	14	15
16 栄村青倉雪崩 (1961年)	17	18	19	20	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	1



蛇抜沢と金毘羅大権現（野沢温泉村）

野沢温泉村虫生地区の蛇抜沢（じゃぬげざわ）と呼ばれる沢の下流には金毘羅大権現を祀った神社があり、水神である蛇神（龍神）を祀っています。

神社や沢名で土石流の再発防止と危険性を伝承しています。

県内の主な災害（3月）

- 1998年（平成10年） 倉下地すべり災害（白馬村）
- 2011年（平成23年） 長野県北部地震（栄村他）

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



11
NOVEMBER

OCTOBER
28 29 30 1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31 1

災害伝承カレンダー

DECEMBER
30 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31 1 2 3

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	31	1
2	3 文化の日	4	5	6	7	8
9	10	11 大町地震 (本震1918年)	12	13	14	15
16	17	18 土木の日	19	20	21	22 長野県北西部地震 (神城断層地震) (本震2014年)
23 勤労感謝の日 30	24 振替休日	25	26 北伊豆地震 (本震1930年)	27	28	29

荇沢川第3号堰堤



荇沢川石堰堤（千曲市）

荇沢（いざわ）川は、千曲市西部の河川で、江戸時代以来、度々氾濫を繰り返していました。千曲川流域では、明治12年頃から砂防事業が開始され、荇沢川の周辺は明治15年から砂防工事が行われ、石堰堤169か所などが設置されました。総工費8,900円余り（現在に換算すると約1億円）、延べ人員31,000人余りをかけた大規模な工事であったようです。荇沢川には、当時造られた石堰堤が4基現存し、今も機能しています。

荇沢川石堰堤は、平成21年に国の登録文化財に登録され、地元区の皆様による草刈などの環境整備が行われています。

文化財登録の記念碑



県内の主な災害（11月）

- 1876年（明治9年）北城村杓子沢雪崩災害
- 1918年（大正7年）大町地震
- 2014年（平成26年）長野県北部地震（神城断層地震）

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



3

MARCH

FEBRUARY

26 27 28 29 30 31 1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 1

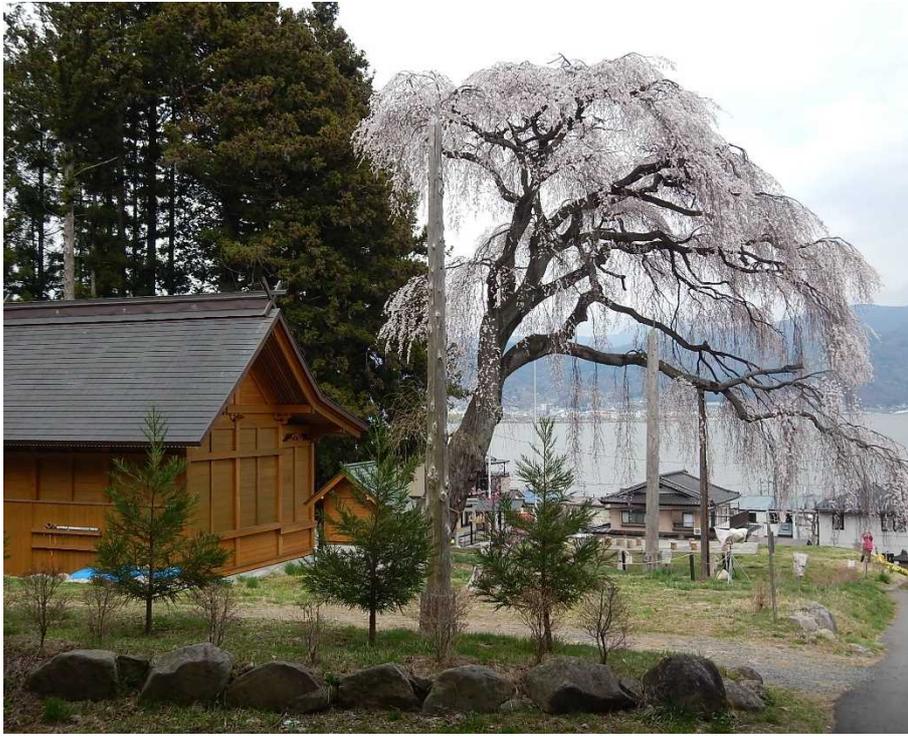
災害伝承カレンダー

APRIL

30 31 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 1 2 3

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
23	24	25	26	27	28	1
2	3 昭和三陸地震 (本震1933年)	4 十勝沖地震 (本震1952年)	5	6	7	8
9	10	11 東北地方 太平洋沖地震 (本震2011年)	12 長野県北部地震 (本震2011年)	13	14	15
16 糸魚川市小泊 地すべり (1963年)	17	18	19	20 春分の日	21	22
23	24	25 能登半島地震 (本震2007年)	26	27	28	29
30	31					



船魂社のシダレザクラ（岡谷市）

平成18年7月19日、諏訪地方は稀にみる豪雨が長期に及び、市内の各地で土砂崩落や土石流が発生しました。小田井沢川上流で発生した土石流は一気に沢を下り、船魂社の森を直撃したあと南北に分かれ、北小路、南小路の住宅を押し潰し、7名もの尊い命が犠牲となる大災害となりました。船魂社本殿や玉垣、鳥居、石灯笼、石碑などの石造物も押し流され、社叢も大きな被害を受けましたが、このシダレザクラは樹皮の多くを剥ぎ取られながらも、地域住民の懸命な手当てにより樹勢を取り戻し、花を咲かせ、災害復興の象徴となっています。



県内の主な災害（4月）

- 1714年（正徳4年） 小谷地震、岩戸山崩壊
- 1939年（昭和14年） 南小谷村風張山崩落
- 1973年（昭和48年） 飯綱山萩之峰地すべり

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



10
OCTOBER

SEPTEMBER
31 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 1 2 3 4

災害伝承カレンダー

NOVEMBER
26 27 28 29 30 31 1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 1 2 3 4 5 6

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	1	2	3 千曲川洪水 (~11日 1945年)	4
5	6	7	8	9	10	11
12 令和元年 東日本台風 (2019年)	13 スポーツの日	14	15	16 平成25年台風26号 (2013年)	17	18
19	20	21	22	23 新潟県中越地震 (本震2004年)	24	25
26	27	28 御嶽山噴火 (1979年)	29	30	31	1



宇原川（災害復旧記念碑）（須坂市）

昭和56年8月23日未明、台風15号による集中豪雨により、宇原川上流のロットの沢で土砂崩落が発生、土石流となって宇原川を流下しました。これにより10人もの尊い命が奪われ、住宅や道路、橋梁、農地、水道施設、その他公共施設などに被害総額91億円という大被害となりました。

56災害復旧記念碑は、災害の復旧を記念し昭和58年に建てられました。毎年、災害が発生した8月23日には地元区で記念碑の前で慰霊祭が行われ、被害者の冥福を祈るとともに、大災害の記憶を後世に語り継いでいます。また、須坂市では56災害が発生した8月23日を「市民防災の日」と定め、防災・減災意識の向上に努めています。



県内の主な災害（10月）

- 1945年（昭和20年） 千曲川洪水（～11日）
- 1976年（昭和51年） 奈良尾地すべり（信州新町）
- 2019年（令和元年） 令和元年東日本台風災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



4
APRIL

MARCH						
23	24	25	26	27	28	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

災害伝承カレンダー

MAY						
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9 飛越地震 (本震1958年)	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19 地図の日
20	21 風張山崩壊 (1939年)	22	23	24	25	26
27	28	29 昭和の日	30	1	2	3



水害を防いだ釜岩（飯田市）

飯田市内を流れる天竜川は昔から、洪水の際には西に東に氾濫しながら流下しましたが、川の流れがこの岩に当たることで古来幾多の洪水から明、清水地区を守ってきました。この功績から、大正3年に釜岳丕積岩（かまいわひせきがん）と命名されました。

昭和36年6月豪雨によりこの岩も土砂に埋もれてしまい、その後の建設省の築堤工事に際しこの岩も撤去されることとなりましたが、地元の方々の熱意によりこの由緒ある岩を永久保存することとなりました。

現在は、新しい堤防の内側に釜岩公園が造られ、岩の一部が移転されています。



県内の主な災害（5月）

- 1847年（弘化5年） 善光寺地震
- 1911年（明治44年） 稗田山深層崩壊
- 1916年（大正5年） 木崎湖・神城竜巻災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



9

SEPTEMBER

AUGUST

27 28 29 30 31 1 2
 3 4 5 6 7 8 9
 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23
 24 25 26 27 28 29 30
 31 1 2 3 4 5 6

災害伝承カレンダー

OCTOBER

28 29 30 1 2 3 4
 5 6 7 8 9 10 11
 12 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24 25
 26 27 28 29 30 31 1

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
31	1 防災の日 関東大地震 (本震1923年)	2	3	4	5 茅野市下馬沢川 土石流災害 (2021年)	6
7	8	9 平成27年9月 関東・東北豪雨 (~11日 2015年)	10	11	12	13
14 長野県西部地震 (本震1984年)	15 敬老の日 カスリーン台風 (1947年)	16 第二室戸台風 (1961年)	17	18	19	20
21 室戸台風 (1934年)	22	23 秋分の日	24	25	26 伊勢湾台風 (1959年)	27 御嶽山噴火 (2014年)
28	29	30	1	2	3	4



自然湖（王滝村）

昭和59年9月14日午前8時48分に王滝村を震源とした長野県西部地震が発生し、死者、行方不明者合わせて29名、家屋全壊14棟の大災害となりました。この地震により御嶽山の山体崩壊から引き起こされた土石流が王滝川に流れ込み、堰き止めることで自然湖が形成されました。自然湖では水没した木立を見ることができます。

自然湖のそばには諸氏の霊を慰め、この地の鎮めとして震災慰霊塔が建立されています。



県内の主な災害（9月）

- 1959年（昭和34年） 伊勢湾台風災害
- 1984年（昭和59年） 長野県西部地震、御岳崩れ
- 2014年（平成26年） 御嶽山噴火災害
- 2021年（令和3年） 茅野市下馬沢川土石流災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



5
MAY

APRIL
30 31 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 1 2 3

災害伝承カレンダー

JUNE
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 1 2 3 4 5

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	1	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8 善光寺地震 (本震1847年)	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19 飯山市井出川 土石流災害 (2017年)	20	21 宝暦高田地震 (本震1751年)	22	23	24 チリ地震津波 (1960年)
25	26	27 善光寺地震犀川 天然ダム決壊 (1847年)	28	29	30	31



こもれ陽の径(土石流堆)(宮田村)

「こもれ陽の径(こもれびのみち)」では、かつて発生した土石流の跡を見ることができます。「こもれ陽の径」沿いの小山は、古代から1600年代前後にかけて、太田切川で起きた土石流の石や土砂が積もってできた土石流堆だと考えられています。

現在は一帯が林間コースの遊歩道として整備されています。



県内の主な災害(6月)

- 1715年(正徳5年) 未(ひつじ) 満水(洪水)
- 1915年(大正4年) 焼岳噴火、大正池形成
- 1961年(昭和36年) 三六災害(大西山崩落)

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



8

AUGUST

JULY

29 30 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31 1 2

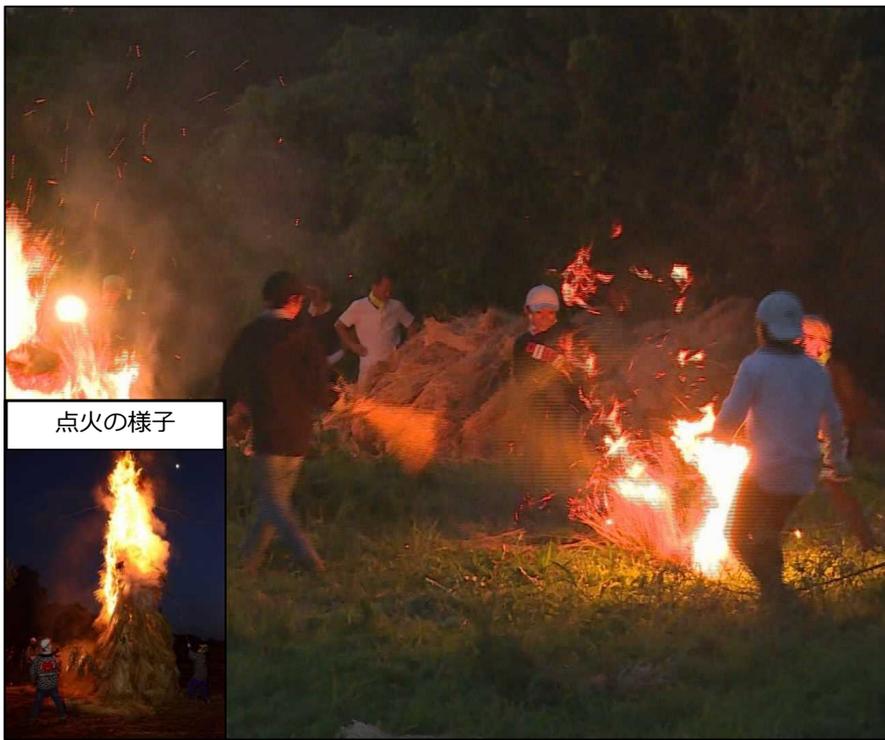
災害伝承カレンダー

SEPTEMBER

31 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 1 2 3 4

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	31	1 千曲川戊の満水 (~2日 1742年)	2
3 松代群発地震 (~5年間 1965年)	4	5	6	7	8 稗田山崩れ (1911年)	9
10	11 山の日	12	13	14 昭和34年台風7号 (1959年)	15 岡谷市川岸東 土石流災害 (2021年)	16
17	18	19	20 広島市土砂災害 (2014年)	21	22	23 宇原川土石流災害 (1981年)
24 31	25	26 八ヶ岳山体崩壊 (887年)	27	28	29	30 平成28年台風10号 (2016年)



金井の火祭り（東御市）

金井の火祭りは、東御市無形民俗文化財とされ、石尊大権現の石碑の前及び集落一帯で行われています。降水の少ない地域のため、元々は雨乞いと虫送りの祭りでしたが、寛保2年（1742年）8月1日に「戌の満水」と呼ばれる大洪水が発生し、金井村は壊滅、多くの死者を出し、村ごとの移住を余儀なくされました。そこで、大洪水以降は亡くなった人々の霊を弔うための祭りとして行われるようになりました。以前の村の位置から108個の松明を順に点火し、石尊大権現の石碑の前まで繋ぎます。その後、松の木やワラ・アカシヤ等の太い枝で作った三角錐状の塔に火をつけようとする若者と、それを阻もうとする少年達の攻防に火花が散りますが、やがて塔に火がつけられ、塔の火が燃え尽きると火祭りが終わります。

一帯には供養塔や祠、金井村のあった場所に立てられた石碑などが点在し、大災害を今に伝えています。

県内の主な災害（8月）

- 1783年（天明3年） 浅間山大噴火
- 1911年（明治44年） 稗田山崩壊（小谷村）
- 1965年（昭和40年） 松代群発地震（以後5年）
- 2021年（令和3年） 岡谷市川岸東土石流災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



6 JUNE

MAY						
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

災害伝承カレンダー

JULY						
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 土砂災害防止月間 (~30日)	2	3 測量の日 雲仙普賢岳大規模 火砕流(1991年)	4	5	6 焼岳噴火(1915年)	7
8	9	10	11	12 宮城県沖地震 (本震1978年)	13 岩手・宮城内陸地震 (本震2008年)	14
15	16 新潟地震 (本震 1964年)	17 未の満水 (~27日 1715年)	18	19	20 千曲川仁和洪水 (888年)	21
22	23 産屋沢土石流 (2011年)	24 三六災害 (~7/10 1961年)	25	26	27	28 平成30年7月豪雨 (~7/8 2018年)
29 大西山崩壊 (1961年)	30 松本地震 (本震2011年)	1	2	3	4	5



防災メモリアル地附山公園（長野市）

防災メモリアル地附山公園は、観光客で賑わう善光寺の北方に位置します。昭和60年の梅雨時期の降水量は、平年の3.3倍にも達し、地附山の南東斜面で、幅約500m、長さ約700m、深さ最大約60mの大規模な地すべりが発生しました。

災害復旧のための恒久対策工事等は、昭和62年末まで行われました。

地すべり対策の跡地面積約25haのうち、約6.3haを利用して、災害を忘れないように公園が整備され、「あの災害を忘れまい」という思いを強く表すため、公園の名称も「防災メモリアル地附山公園」となっています。



県内の主な災害（7月）

- 1985年（昭和60年） 地附山地すべり（長野市）
- 1995年（平成7年） 豪雨災害（小谷村他）
- 2006年（平成18年） 豪雨災害（岡谷市他）
- 2020年（令和2年） 豪雨災害（飯田市、長野市他）

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



7
JULY

JUNE
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 1 2 3 4 5

災害伝承カレンダー

AUGUST
27 28 29 30 31 1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31 1 2 3 4 5 6

2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	1	2	3 令和2年7月豪雨 (~7/31 2020年)	4	5 九州北部豪雨 (~6日 2017年)
6	7	8	9 南木曾町土石流災害 (2014年)	10	11 長野県北部 7.11水害 (~12日 1995年)	12 北海道南西沖地震 (本震1993年)
13 平成16年7月 新潟・福島豪雨 (2004年)	14	15 長沼地震(本震 1941年) 平成18年7月豪雨 (~24日 2006年)	16 新潟県中越沖地震 (本震 2007年)	17	18	19
20	21 海の日	22 信濃川決壊 横田切れ (1896年)	23	24	25	26 地附山地すべり (1985年)
27 信州 山の日 新潟・福島豪雨 (~30日 2011年)	28 新潟焼山噴火 (1974年)	29	30 平成26年8月豪雨 (~8/26 2014年)	31	1	2